沖福連・定例総会のご報告

６月２４日（金）、沖福連の定例総会がありました。昨年同様、書面での参加をベースに少人数での開催です。久しぶりに会議室のパーテーションを開放し、またオンラインで参加する理事もあり、ひとりひとりの協力のおかげでソーシャルディスタンスの確保もしっかりと行なうことができました。

議案としては、２０２１年度の事業報告および決算報告、２０２２年度の事業計画と年間の予算組み、また監査報酬等にかかる法人規程の見直しなどがありました。

承認された決算書や役員報酬規程などは沖福連のホームページからもご確認いただけます。

九州運輸局へ交通運賃割引の要望を行ないました

みんなねっと九州・沖縄ブロックの各県代表にて、7月２１日（木）、九州運輸局へ精神障がい者の交通運賃割引に関する要望書を提出し、意見交換を行ないました。

協議はオンラインで実施されて、各県連からは１７名、九州運輸局からは８名の参加がありました。

近年の推移としては、２０２０年６月、国会衆参両院の国土交通委員会において、精神障がい者交通運賃割引の請願が採択。翌２０２１年６月には、赤羽前国土交通大臣から、「精神障がい者割引の導入促進」について、「取組の具体的な方向性や目標等を早期に定め、その実現に向けた検討を開始すること」と大臣指示がありました。精神障がい者にも他障がいと同等のサービスが提供されるべき、という認識は全国的にも醸成されてきていると感じます。

この要望活動は九州・沖縄ブロックとして毎年続けてきているもので、途上ではありますが、参加者からは「毎年続けていることが少しずつ前進していると感じられ、感動があった」と、声を上げ続けることの大切さを実感する感想も聞かれました。

今年のみんなねっと九州・沖縄ブロック家族会研修会は、大分県大会！
会場：別府市　11 月 17 日・18 日　（オンライン併用のハイブリッド開催予定）